

報告書

阪本和俊

No. 1

去る八月三日・四日にかけて、大津市にある、全国市町村
国際文化研究所を訪れた。初日、午後は

○東京大学名誉教授、大森わたる先生、地域包括ケア
ケア・システムについて

○東京都三鷹市長、清原慶子氏、協働による地域福祉
とコミニティ創生について

翌日午前中には、NHK報道番組「テレクター」

新井直之氏、チャイルドプラー、子ども、貧困から見
えてきたこと、

の日本理化学工業株式会社、会長、大山泰弘氏、
知的障害者に導かれた企業経営から皆働社会
実現への提言と題して、御講演をいただいた。
いすれも並段、聞くことの少ない貴重で内容である
中、特に印象深かったのは、NHK、新井氏による

子ども、貧困、女性、貧困、何か問題か、国の対策は
 として、地域社会の中の水戸下で暮らす子どもが
 現状報告は、実に驚くべきもので、過去最悪を
 更新、OECD先進諸国の中で日本はワースト
 一位という不名誉な状況にあるという、
 具体的には子どもが六人に一人（約三〇〇万人）が当たり前
 の生活が難しい状況にあると言われ、最も深刻
 なのは一人親家庭の貧困率五四・六％で特に
 母子家庭の多くがその被害にあっているという、
 こうした問題解決にあたっては国の積極的な
 対策が不可欠であり、同時に市町村や民間の
 貧困対策が急務であるとして強く感じました。

終り